

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		遊園地（職員）	・今後も、料金施策の効果やイベントなどによる集客施策の実施により、多くの客の来園を引き続き期待する。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・前年の猛暑があったため、特に今年は夏物商材等の需要が見込める。
		スーパー（経営者）	・近隣の酒屋が閉店し、7月末に地域の夏祭りの生ビール販売等を頼まれる予定で、売上は増える。10月の消費税増税等でレジの更新などがあるため、これを機に閉店した酒屋が3軒ある。いずれも、年齢も70過ぎで後継ぎもいないとのことである。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要により、新車販売が増加するとみている。
		スナック（経営者）	・令和になってから、そこそこ上向いてきているように思う。このまま続いて欲しいという期待も込めて、やや良くなる。
		観光型ホテル（支配人）	・今まで多かった台湾からの旅客が今年は減少傾向であるが、アジア圏の旅行者全体でみると伸びている。これがいつまで続くか不透明ではあるものの、この先も外国人観光客からの予約は概ね好調である。
		観光型旅館（経営者）	・例年夏は、客の入込みが安定しているため、平年並みに戻ると予想している。
		都市型ホテル（支配人）	・今年は中京圏の催事が、会場都合によりシフトしているため、ビジネス客に加えて週末ごとのコンサートやイベント参加の客が増えている。また、来年に迫った東京オリンピックにも同様の状況が予想される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は変わらず、順調に推移している。フリー客も大きく減少する要因が見当たらないので、落ち込みが大きくなることなく安定して進捗するのではないかと。しかし、大きな選挙が実施されると、毎回大きく落ち込むので、懸念材料ではある。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相変わらず、相談は多い。特に、後を見てくれる人がいないということで、永代供養墓の相談や仏壇処分も多い。
		商店街（代表者）	・6～7月は大きなイベントもなく期待できないが、その後の夏休みに期待したい。しかし、財布のひもは固く締まっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・前年の猛暑があったため、エアコンの売上増は見込まれる。取付業者が学校関係や公共事業に取られてしまい、商材は売れても取付が間に合わない状況となりそうである。企業からは消費税増税に絡んで、注文をもらっているが、学校関係の納品に伴って、個人店への納期に時間が掛かっている。
		百貨店（営業担当）	・現状だと、良くなるような兆し、雰囲気はない。変わらないかやや悪くなる傾向にあるのではないかと。
		スーパー（経営者）	・連休時の支出増の反動減を警戒している。
		スーパー（副店長）	・大型連休の影響で、5月はスタートが例年より少し良かったものの、4月からの累計で判断すると、とても良いとはいえない。東京オリンピック等の明るい話題もあるが、消費税増税や年金受給年齢の引上げなど、将来的には不安要素が強く、景気が良くなる要素は少ない。
		コンビニ（店長）	・2～3か月後には消費税増税関連の話が出てくるが、当店の場合は消え物が中心なので、特別変わるような状況ではない。
		家電量販店（店長）	・消費税増税前の需要に期待しているが、今のところは動きがない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・良くも悪くもなる要素が見当たらない。ただし、7月は参議院議員選挙があるので、若干客足が落ちるのではないかと多少心配している。
		タクシー運転手	・今月は長い連休があった割には、久しぶりに前年比100%に届きそうである。
		ゴルフ場（経営者）	・前年の予約数はクリアしている。地方選挙がひと段落し、レストランでも年配者の楽し気な顔つきや会話が、目立っている。
	設計事務所（経営者）	・3か月先まで、依頼は多く入っている。	
	住宅販売会社（経営者）	・別荘価格の下落傾向が進んでおり、値ごろ感が出てきているものの、売買件数は横ばいである。	

	商店街（代表者）	・いろいろな資源の物価が上昇し、運賃が高くなっているため、この先やや悪くなる。当店のよう小売店は、なかなか価格を上げるわけにはいかないので、今後、良くなることはなく、悪くなっていく。
	コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピックなどによる一瞬の輝きはあるものの、経済基盤の強化とはなっていないため、継続的な成長となるかは疑問が残る。
	自動車備品販売店（経営者）	・株価の下落により、「投資株式は塩漬け」との声を聞くようになっている。
	一般レストラン（経営者）	・普段は節約する等、消費者マインドは厳しい方向にある。
	一般レストラン（経営者）	・消費税再増税までは、建設関連や自動車関連などはまずまずである。ただし、その分、日常の消費、サービス業に対する消費は控える傾向になる。
	一般レストラン（経営者）	・予想される異常気象の影響が懸念される。店の15周年の告知アピールをする予定だが、効果は薄い気配である。
	スナック（経営者）	・毎日厳しい状況が続いているが、この先もまた、お盆休みなどの休みがあるので、かなり厳しい日が続く。
	旅行代理店（副支店長）	・米国と中国との関係悪化や参議院議員選挙などがあり、旅行の減少や規模縮小などが目立ってきている。夏休みの動きや秋口の受注も非常に悪い。特に、企業団体は前年比で60%ほどと落ち込んでいる。企業も様子見の感じだが確実に受注は減っている。
	ゴルフ場（経営者）	・生産年齢人口の減少、消費税再増税、働き方改革のトリプルパンチに耐えられるのか大変不安である。働き方は選択出来るようにしてもらいたい。さもないと、アントレプレナーシップを有する人材の育成に支障が出る。起業家的イノベーターが育たなければ、経済縮小の一因となる。頑張る人は沢山頑張って良い社会にってもらいたい。少なくとも私はそうやって経営者になっている。
	百貨店（店長）	・令和改元等の一時的な効果はあったが、それも冷めている。消費税再増税も控えており、客の購買行動も慎重になっている。実際に10月が近づくと、消費に対する逆風も強まるのではないかと。
	スーパー（経営者）	・求人採用はますます厳しくなり、どの業種でも人材確保に悲鳴を上げている。
	衣料品専門店（経営者）	・今はクールビズで、夏に向けての需要があるものの、真夏になると品物は動かない。
	スナック（経営者）	・良くなる傾向が1つも見当たらない。これからは、強弱がはっきりするようになるのではないかと。現総理が何を考えているか分からないが、もう少し庶民に顔を向けてほしい。
	通信会社（経営者）	・競合他社との争奪戦が激しくなっており、しばらくこの状況は続きそうである。
	通信会社（営業担当）	・当地の凍霜害の被害は日を追うごとに拡大しており、今後が見通せない状況にある。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注、生産共に、順調に推移している。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・消費税再増税がどうなるか不明だが、駆け込み需要を狙った、小売店の販売競争により、受注量が増える。
	食料品製造業（総務担当）	・販売量が見込めない上に、原材料の値上げや販売単価の下落等、良化を予想させる材料が見当たらない。
	一般機械器具製造業（経営者）	・客からの受注や輸出需要の状況が、上向き傾向にはない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・案件がそれほど多くないため、変わらない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・消費税再増税が、本格的に身近に感じられるようになれば、多少動きが出るかもしれない。
	建設業（経営者）	・景気は上向いていると思うが、今後は人手不足や技術者確保が問題となる。
	金融業（調査担当）	・米中貿易摩擦や日米通商交渉の行方など、先行き不透明感が増している。
	金融業（経営企画担当）	・現在公表されている各国の景気指標等を考慮すると、停滞期はしばらく続く。
	食料品製造業（製造担当）	・販売点数が若干落ち込んでおり、悪くなる。

		食料品製造業（営業統括）	・一部のワインは国際ワインコンクールで入賞しているものの、全体的にみると海外ワインに押され、苦戦が強いられる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが本当に大変である。
雇用 関連 (甲信越)		-	-
		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・収入減や消費税増税問題等、購買意欲が湧かないため、景気は上向かない。
		職業安定所（職員）	・ハローワークの窓口では引き続き、人手不足で求人募集を行う企業は多い。先行き不透明と心配する声も一部あるものの、景気が後退したとの話題はなく、また、従業員の解雇等の動きもない。
		職業安定所（職員）	・短期的にみるとやや悪くなっているようには感じるが、2～3か月先の景気は、やや悪くなるといえるほどには動かないのではないかと。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・求人は続いているものの、今後、採用人数は今までとは違って、多少減ってくるとみている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業では、米中貿易摩擦の影響が出始めた企業や不安視する企業が増え、総じてやや悪くなりつつあるが、大きな変化はまだ先のようなのである。
	×	-	-